

『歴史地理教育』バックナンバー

御注文は、歴史教育者協議会まで、FAXかメールでお願いします(送料は別途、代金は後払い)。在庫品に限りがありますので、品切れの場合は、ご容赦下さい。

●第二次世界大戦・国連に関連した特集号(在庫品)と主な内容

三八五号(一九八五年八月)

本体五〇〇円＋税(在庫3冊)

特集 敗戦四〇年―語りつくされた戦後史

戦争のおわらせ方と戦後史の課題 荒井信一／戦時下の教育体験を問う―戦後の私のあゆみ 板倉三重／女の生き方と戦争―西伊豆の女たちの聞き書きを中心に 平井和子／実践(高)ヒロシマの父母の歴史と私たち 沢野重男・他／実践(高)沖繩戦から四〇年 吉浜忍／実践(中)中国帰国孤児二世との交流 佐久間治夫／実践(小)主権者に育てる戦後史学習 山近顕／安保はいらない 基地を市民に 小倉充・金子真

四四六号(一九八九年九月)

本体五五三元＋税(在庫2冊)

特集 第二次大戦下の抵抗運動

敗戦国独・伊・日の戦後四〇年の比較とその歴史的諸要因 西島有厚／一九四五年に終る戦争の名称 家永三郎／ヨーロッパのレジスタンス・フランス、イタリアを中心に 中西啓之／東南アジア諸国民の抵抗運動 高嶋伸欣

五三八号(一九九五年一〇月)

本体六四一円＋税(在庫9冊)

特集 国際連合五〇年

《インタビュ》戦後史のなかの国際連合 浅井基文(聞き手・篠塚明彦)／国連をどう教えているか―集団安全保障方式に確信を与える授業をめざして 渡辺賢二／日本の安全保障理事會常任理事国化をめぐる 河辺一郎／(コラム)「国連本部はなぜニューヨークにあるのか」篠塚明彦、「国連寛容年とは」大野一夫、「国際公務員」菊地宏義

五九八号(一九九九年九月)

本体六三八円＋税(在庫8冊)

特集 第二次世界大戦前夜

なぜ第二次世界大戦は起こったのか 遠藤巖／ドイツの軍事大國化はなぜ実現したのか 永岑三千輝／独ソ不可侵条約はなぜ結ばれたのか 斎藤治子／第二次世界大戦を描いた映画―欧米作品を中心に 山田和夫／「日本国憲法第九条」が世界の指針となる―HAGUE APPEL FOR PEACE 1999 安達喜彦

六七六号(二〇〇四年十一月)

本体六四八円＋税(在庫17冊)

特集 教室に国際法を

実践(中学) 近現代史学習に国際法を取り入れて 吉田喜一／実践(高校) 非暴力的平和創造力を社会の財産に 小山寛／国際刑事裁判所(ICC)を支える力―世界平和は民衆の連帯で 前田朗／劣化ウランの基礎知識 山崎久隆／徴兵・兵役拒否と平和教育 菊地宏義

六八〇号(二〇〇五年二月)

本体六四八円＋税(在庫18冊)

特集 「国際貢献」と日本の未来

「国際貢献」は民間の手で―「国際貢献」についての国際協力NGOの一考察 高橋清貴／実践(高校) イラク戦争を高校生と考える 井ノ口貴史／実践(高校現代社会) 憲法九条と「国際貢献」 伊藤和彦／アフリカと日本の「国際貢献」 勝俣誠